

「平成 16 年新潟県中越地震」に対する
第二次調査団（社会基盤システム総合調査団）の派遣

2004 年 11 月 5 日

（社）土木学会

土木学会（会長 森地 茂）は、平成 16 年新潟県中越地震に関して、先の土木学会第一次調査団（小長井一男団長）に引き続き、第二次調査団（家田仁団長）を派遣することとしました。

これまでの第一次調査団、関東支部調査団などと協力・連絡・連携し、役割分担を図りながら、主として交通ネットワークやライフライン系などの社会基盤システムの機能被害状況、地域経済被害状況、救助・応急処置・支援等の緊急活動状況、復旧・復興にあたっての計画・設計の考え方などに関する総合的調査を行い、今後の地震防災・減災と科学技術上の知見に資することとしている。

1. 団員構成

（氏 名）	（所 属）	（専門分野）
調査団長：家田 仁	東京大学大学院 教授	社会基盤学
調査団幹事長：佐野 可寸志	長岡技術科学大学 助教授	土木計画学
連絡調整委員：小長井一男	東京大学生産技術研究所 教授	耐震構造学（第一次調査団長）
山田 正	中央大学 教授	河川工学（関東支部調査団長）
後藤 洋三	（独）防災科学技術研究所 川崎ラボラトリー所長	地震防災工学（地震工学委員長）

調 査 団 員：下記のとおり、3 グループ、9 調査班に分かれて調査。リーダー等のみ記載。

A. 交通ライフライングループ

（1）道路ネットワーク班：

内山 久雄	東京理科大学 教授	基盤計画
他		

（2）鉄道システム班：

海野 隆哉	長岡技術科学大学 教授	防災設計工学（鉄道）
他		

（3）公共交通班：

中村 文彦	横浜国立大学 助教授	都市交通計画
他		

（4）物流システム班：

松本 昌二	長岡技術科学大学 教授	交通計画学
他		

（5）ライフライン班：

高橋 敬雄	新潟大学 教授	都市工学
他		

B. 地域経済グループ

(6) 面的被害・地域計画班：

岸井 隆幸 日本大学 教授 都市計画
他

(7) 避難マネジメント・経済調査班：

多々納 裕一 京都大学防災研究所 教授 災害リスクマネジメント
片田 敏孝 群馬大学 助教授 災害社会工学
他

C. 構造物マネジメントグループ

(8) 構造物マネジメント班：

前川 宏一 東京大学大学院 教授 コンクリート構造
家村 浩和 京都大学大学院 教授 地震工学（構造）
他

(9) 地盤土構造マネジメント班：

龍岡 文夫 東京理科大学 教授 地盤工学
他

(団員は、現時点での構成であり必要に応じて追加予定)

2. 調査結果などの公表

調査の内容や結果については、逐次、プレス発表、学会ホームページ (<http://jsce.or.jp>) への掲載などにより報告の予定。

調査団への取材は、学会事務局の調査団担当者 (090-3100-0978) が受付け、原則として一元的に家田調査団長が承ります。

3. お問い合わせ先

(社) 土木学会 事務局

対策本部事務局(総務課長) 竹田 E-Mail:office@jsce.or.jp

企画広報室長補佐 石郷岡 E-mail:inf@jsce.or.jp